
MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



2024年3月期 第1四半期

決算補足説明資料

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2023年8月9日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

会社概要	3
Our Purpose	4
2024年3月期 第1四半期決算ハイライト	
業績ハイライト	5
損益計算書	6
事業別／分野別売上高	7
貸借対照表	8
2024年3月期 第1四半期トピックス - 全般	9
2024年3月期 第1四半期トピックス - Cambrianビジョンシステム	10
2024年3月期 通期業績予想	11

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2023年3月31日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

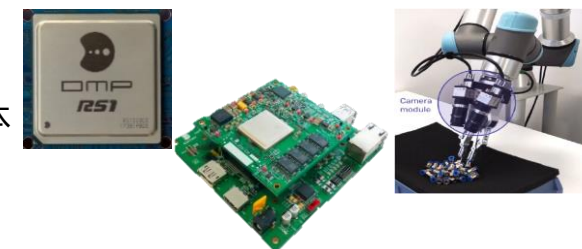
IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



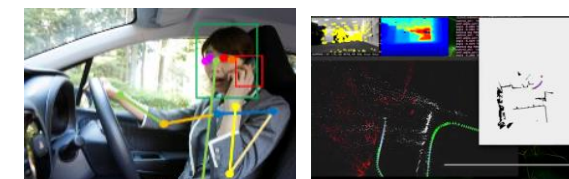
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・協働ロボット向けビジョンシステム
- ・ドローン向けカメラモジュール



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・安全運転支援システム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



Making the Image Intelligent

画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する



- 第1四半期売上高は過去最高を更新
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は黒字達成
- 主にスマートパチスロを含むパチスロ市場の活況により、アミューズメント分野売上高が大幅伸長
セーフティ、ロボティクス分野向けプロフェッショナルサービスは第2四半期以降売上拡大見込

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
699 百万円 (YoY※ +80%)	43 百万円 (YoY +34%)	6 百万円 (YoY △76%)	23 百万円 (YoY +379%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
32 百万円 (YoY +116百万円)	652 百万円 (YoY +90%)	630 百万円 (YoY +90%)	38 百万円 (YoY +60%)
	プロフェッショナルサービス		
	3 百万円 (YoY △72%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

主にアミューズメント分野の伸長により大幅増収。黒字化達成

(単位：百万円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額
売上高	387	699	+311
営業利益	△89	30	+119
経常利益	△83	32	+116
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△84	26	+110

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」に加えて、Cambrianビジョンシステム等、製品事業の大幅伸長により、売上高は80.3%増収
- 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も黒字化

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **43百万円** 前年同期 32百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上

製品事業 **652百万円** 前年同期 343百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 **3百万円** 前年同期 11百万円

- AI/GPU受託開発サービス収入を計上
- 第1四半期から進めているセーフティ、ロボティクス分野向けプロフェッショナルサービスの大半は第2四半期以降売上計上予定

● 分野別売上高

セーフティ分野 **6百万円** 前年同期 26百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入を計上

ロボティクス分野 **23百万円** 前年同期 4百万円

- Cambrianビジョンシステム等の製品売上、プロフェッショナルサービス売上等を計上

アミューズメント分野 **630百万円** 前年同期 332百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

その他分野 **38百万円** 前年同期 24百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上

自己資本比率は85.5%と高水準を維持

(単位：百万円)	2023年 3月末	2023年 6月末	増減額	主な内訳
流動資産	3,683	3,533	△150	現金及び預金 +195 売掛金及び契約資産 △354
固定資産	158	151	△6	有形固定資産 △3 無形固定資産 △3
資産合計	3,842	3,684	△157	
流動負債	700	515	△184	買掛金 △175
固定負債	17	17	+0	
負債合計	717	533	△184	
純資産合計	3,124	3,150	+26	利益剰余金 +26
負債・純資産合計	3,842	3,684	△157	

セーフティ

安全安心社会の実現

- エッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得
- デンソーテンの安全運転管理テレマティクスサービス「Offseg」のドライバーモニタリング機能として、「ZIA SAFE」が採用される



ロボティクス

製造業、運輸業等における省力化・省人化に貢献

- デモ機開発による自律走行ロボット向けの新規ライセンス獲得活動を推進
- Cambrianビジョンシステムの用途/エコシステム拡張
 - ・接続済みの海外製に加えて国内製の主な協働ロボットへの接続対応を完了
 - ・処理能力の高い産業用ロボットを用いた三品産業向け透明体のピッキングを実現

画像の知能化 による社会・顧客課題の解決

アミューズメント

美しい映像表現の実現と遊技機筐体コストの削減を両立

- 稼働が好調なスマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続
- 当社のユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大、新規顧客参入を目指す



AI/GPU IP

顧客SoCに最適な小サイズ、低消費電力、高性能なIPの提供

- 既存IP/顧客からの安定的なランニングロイヤリティ獲得、新規案件の商談進捗
- 現行製品の性能を大きく上回るAI IPプロセッサ「ZIA A3000」の開発、性能検証を推進

高速・高精度、外乱光に対するロバストネス等の競争優位性を強みに、商談拡大、用途開発を推進

● 製造業におけるビジネス案件拡大、刈り取り

自動車産業を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向け、インライン化を視野に製品納入や商談が進捗

● エコシステム拡張

接続済みの海外製ロボットアームに加えて、ファナック、デンソーウェーブ製の国内ロボットアーム（協働ロボット）への接続を完了

● 用途拡張

Cambrianの超高速・高精度認識能力が産業用ロボット（ファナック製「LR Mateシリーズ」）を用いたより高速なロボットピッキング作業を実現
→三品（食品、医薬品、化粧品）産業向けや市場の大きな産業用ロボット対応など、AIビジョンシステムの適用範囲が圧倒的に広がる

徳永製作所によるCambrianビジョンシステムとファナック製産業用ロボットによるボトル供給の自動化デモ



バラ積み状態の（半）透明ボトルを認識、バキュームピッキング



ベルトコンベヤーに配置

5月12日公表の通期業績予想に変更なし

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想
売上高	2,322	2,600
営業利益	27	150
経常利益	28	150
親会社株主に帰属する 当期純利益	22	120

- 第1四半期は主にアミューズメント分野の活況により、売上高は過去最高を更新するとともに、黒字達成
- 第2四半期以降、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入、プロフェッショナルサービス収入の拡大、およびロボティクス分野における製品事業、プロフェッショナルサービス事業の拡大を見込む

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。